

かりんのぷち『トク!?!』

床置きタイプの手すりってどうやって選べばいいの？

居室や廊下などで床置きタイプの手すりを使うことになった！
という時、どのように手すりを選べばいいかご存知ですか？

○選び方の参考(あくまで目安です)



- ・人によるが一般的に手すりの太さは直径3～4cm
- ・床との接地面が広いものほど安定感が高く倒れにくい
- ・グリップが沢山ついていると立ち上がりをよりサポートしてくれる
- ・介助バーがついていると前傾姿勢が取りやすい
- ・手すり部分の素材が木製やプラスチック製だと触り心地がいい

手すりの設置で大切なのは、利用者にとってちょうどいい場所、高さ、形なのかという事です。
場所がほんの少し違うだけでも使いやすさが変わってくるので、
利用者本人にもしっかり確認してもらえると適した手すりを選ぶことができます。

床置きタイプ手すりのご案内

スムーディ 屋内用

メーカー パナソニック
TAIS 00980-000363
品番 XPN-L80801

立ち座り、歩き出し、
立位訓練をサポート

廊下やソファ 玄関など
様々なシーンで活躍

レンタル価格	お客様負担額 (1割負担)	お客様負担額 (2割負担)
¥4,000	¥400	¥800



やさしい端部で、
端から端まで掴
みやすく安心

最大使用者
体重100kg

最小高さ70cm
最大高さ85cm
2.5cmピッチ
7段階

厚さは1.1センチとなだらかな
薄型ベースでつまづきにくい

両足がきちんと乗る
60cmのベース
は廊下の幅にも
ぴったり

医療法人敬任会 グループ
安心安全の福祉用具・住宅改修

福祉用具かりん

〒583-0007

大阪府藤井寺市林2-6-30 シャトー林101号

電話：072-959-2068